

ごあいさつ

東久留米市教育委員会
教育長 土屋 健治

東久留米市教育センターは、設立以来、本市の教育活動の活性化に向けて、教員研修をはじめとした学校支援室、健全育成を進める学習適応教室、子供の困り感に対応する教育相談室の三つの柱を軸に、時代の要請に応じた教育課題の改善を行ってまいりました。

新型コロナウイルス感染症対策を含めた教育を取り巻く環境変化に伴い、学校において様々な課題が生じています。また、令和3年度は、GIGAスクール構想の下、東久留米市教育委員会は全ての子どもたちに一人1台のタブレット端末を配備しました。これにより、学校は、教育活動を効果的に進めるために、ICT環境を積極的に活用することとなりました。

学校は、一つ一つの課題の解決を図りながら、学習活動が一層促進されるよう不断の改善に取り組んでおります。教育センターは、ICT機器使用の支援を含め、教職員が力量や創意工夫を十分に発揮できるよう学校と連携し、東久留米市の子どもたちの健やかな成長に向けて活動を進めてまいります。

東久留米市教育センター

〒203-0014 東京都東久留米市東本町 8-14
成美教育文化会館 4 階



- 学校支援室 Tel. 042-475-2391
火～金(9:00-17:00)
- 学習適応教室 Tel. 042-474-0837
火～金(9:00-16:00)
- 中央相談室 Tel. 042-473-3667
火～土(10:00-17:00)
Fax 共通 042-475-2588



- 滝山相談室
〒203-0033 東久留米市滝山 4-1-10
西部地域センター 2 階
Tel. 042-475-8909 Fax. 042-475-8911
月～金(10:00-17:00)
(第2・4水曜日のみ 10:00-18:00)

東久留米市 教育センター案内

東久留米市の児童・生徒と保護者のために

東久留米市教育センター

〒203-0014 東京都東久留米市東本町 8-14 成美教育文化会館 4F

<http://www.higashikurume-school02.jp/~kurume-center/>



教育相談室(中央相談室・滝山相談室)

子供の成長で悩む保護者を支援 (中央 Tel. 042-473-3667・滝山 Tel. 042-475-8909)

お子さんのことでお悩みの方へ

幼児・小学生・中学生並びにその保護者に臨床心理士などが相談に応じます

教育相談室ってどんなところ？

Q. 何歳までが対象ですか？

A. 幼稚園や保育園から中学校までのお子さんとその保護者の方です。

Q. どんな人が相談にのってくれるのですか？

A. 臨床心理士などの専門家です。

Q. 相談ってどんなことをするのですか？

A. 電話相談と来室相談の2通りあります。困っていることについてお話いただいたり、お子さんにはプレイセラピー(遊戯療法)を行ったりします。

Q. 相談した内容が他の人に知られることはありませんか？

A. 相談室で話されたことは、秘密を厳守します。本人、家族の了解なしに情報が外部に伝わることはありませんので、安心してご相談ください。

ご相談までの流れ

1 お申し込み(保護者)

2 初回面接

ご心配なことについて相談員が詳しくお話を伺います。

3 受理事議

継続面接になりますと、会議にて担当者を決定します。来室の日時はおってお知らせします。

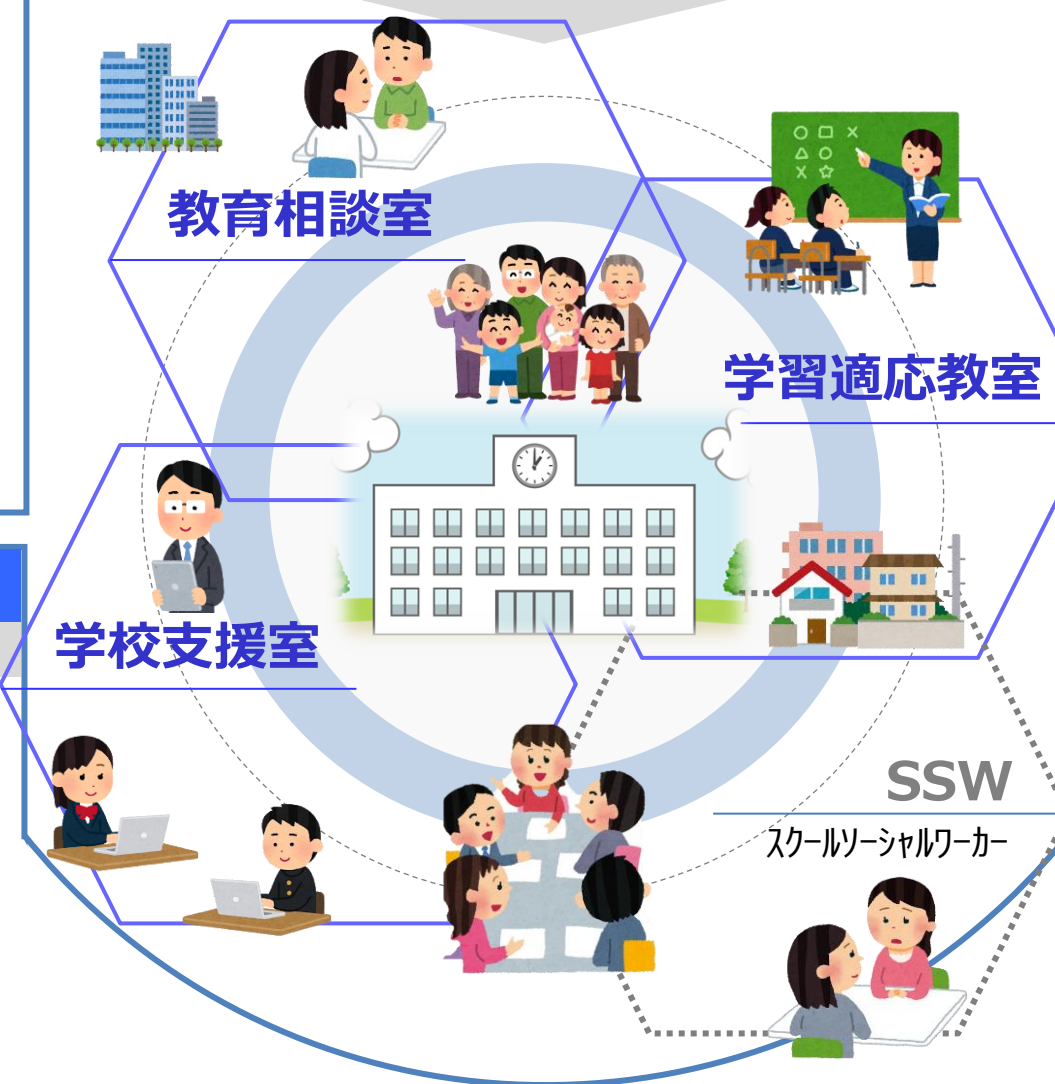
4 継続面接

相談がスタートします。

東久留米市教育委員会の教育目標

- 自ら学び、知を創造する人間
- 豊かな心と人間性を高めていく人間
- たくましく成長する人間
- 粘り強く行動し、実現する人

教育センターの「学校支援室」「教育相談室(中央・滝山)」「学習適応教室」と指導室が連携を図りながら、本市教育目標に、アプローチする。



教育センターだより (年3回発行)

保護者や学校向けに各室の最新の情報を発信しています。また過去の記事は、当センターホームページからも閲覧できます。



学習適応教室

不登校の子供たちの学校復帰を支援 (Tel. 042-474-0837)

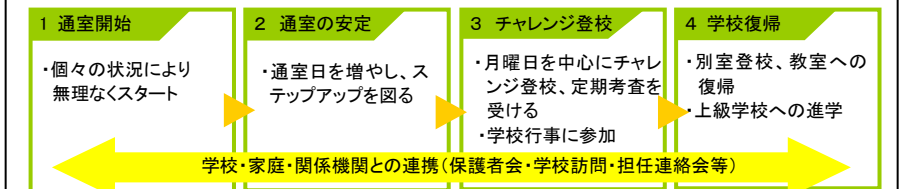
「勇気ある一歩」をスローガンに、学習や進路が気になる不登校の子供たちに様々な適応力を身に付けさせ、学校復帰を支援していきます。

具体的には、生活リズムを立て直すとともに、集団への適応力やコミュニケーション能力の向上を図り、ゆるやかにステップアップできるように導いていきます。

時間割		月	火	水	木	金	土	日
	9:30－9:40	休	朝の会					週休日
1	9:40－10:20		国語	数学	英語	課題学習		
2	10:30－11:10		数学	英語	国語	創作 体験活動		
3	11:20－12:00		英語	国語・進路	数学	創作 体験活動		
	12:00－13:00		昼食・休憩	帰りの会 ・清掃		昼食・休憩		
か	13:00－13:50		課題学習			課題学習 社会・理科		
	終了後約 10 分		帰りの会・清掃					



学校復帰のための4つのステップ



学校支援室

学校、教職員を支援(Tel. 042-475-2391)

学校支援室は教育委員会指導室との連携の下、市内各校の教育活動の円滑な進展に向けて様々な支援をするために設置された1部署です。情報教育に関わる情報教育支援員、SSW(スクールソーシャルワーカー)、初任者教員等への相談活動担当者(兼務)、教員研修支援や諸データ集計を担当する学校支援員のスタッフで以下の学校支援業務に従事しています。教育センター全体の連絡窓口にもなっていますので、お問い合わせは、上記電話番号にご連絡願います。

主な業務内容

- 1 先生方を対象にした各種研修会の支援
- 2 教育委員会指導室から依頼された各種データの処理
- 3 情報教育支援・初任者教員支援・SSW(スクールソーシャルワーカー)の派遣等、各種学校支援活動の実施
- 4 情報機器及び指導教材等の整備・保管・貸出し
- 5 センター外で実施される指導室事業の支援
- 6 コンピュータ研修会の実施・教育センターホームページ更新
- 7 教育センターの庶務的業務処理

SSW(スクール・ソーシャル・ワーカー)

福祉的なアプローチで子供たちを支援(Tel. 042-470-7781)

子供たちが日々の生活の中で出会ういろいろな困難を、子供の側に立って解決するためのサポートシステムです。

- 問題を抱える児童・生徒が置かれた環境への働きかけ、関係機関等へのネットワーク構築、連携・調整を図ります。
- 学校におけるチーム体制の構築、支援を進めます。
- 保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供を行います。
- 教職員等への研修活動に協力します。

学校

問題解決のための必要な調整や支援を行う。

児童・生徒

児童・生徒の個別サポートを行う。

保護者

保護者の個別サポートを行う。

地域社会

関係機関との調整を図る。

連携諸機関等

小平児童相談所、東久留米市子ども家庭支援センター、東久留米市民生委員・児童委員協議会、都立小児総合医療センター、国立精神・神経医療研究センター病院、都立清瀬特別支援学校、東京学芸大学附属特別支援学校、東京学芸大学、東京都多摩小平保健所、田無警察署、その他。

※本事業は市役所教育部指導室の取扱いです。